

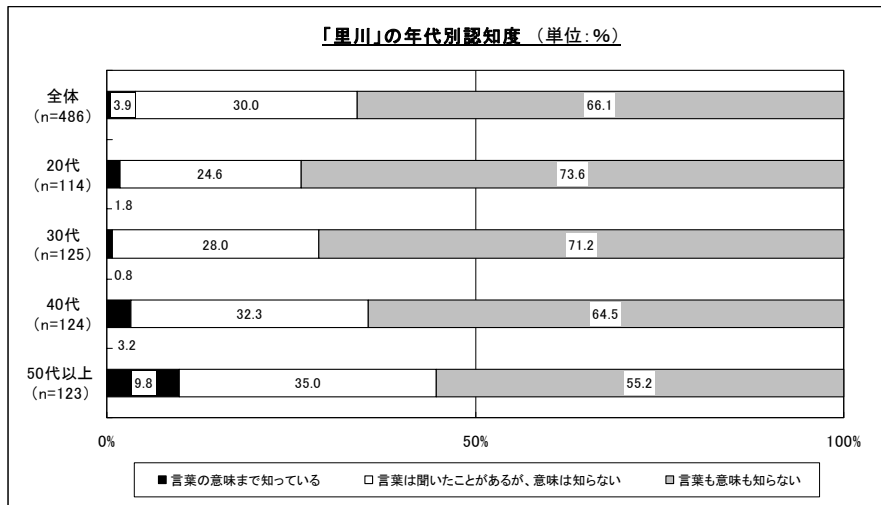
『里川』の認知とイメージ

Q. あなたは“里川”を知っていますか？

- ◇全体の6割強が「里川を知らない」
- ◇世代別では50代以上の9.8%が「里川を知っている」

自然と人との共生の形として、数年前から“里山”に注目が集まり、全国各地で草の根運動的な「里山研究」「里山保全活動」が盛り上がっています。同様の趣旨で「水の文化センター」では2004年から人と川との関係をさぐる「里川(さとがわ)研究」を始めました。ミツカン水の文化センターでは「使いながら守る川」のことを「里川」と定義しています。(※里川研究詳細は、ミツカン水の文化センターホームページ内にある『機関誌「水の文化」』より、15号 里川の構想(http://www.mizu.gr.jp/kikanshi/mizu_15/index.html)を参照ください。)

全体を見てみると、“里川”を「言葉も意味も知らない人」は66.1%、「言葉は聞いたことがある」30.0%、「言葉も意味も知っている」が3.9%という結果になりました。また年代別に見てみると、認知度こそ低いものの、「言葉は聞いたことがある」が30代で28.0%と昨年(23.2%)より4.8%増、40代(32.3%)では昨年(24.8%)より7.5%増と、若干ではありますが認知度が高まってきていることがうかがえます。



Q. “里川”のイメージは？

(10択+その他/3つまで回答) n=486

- ◇「清らかな水が流れる川」「生き物がたくさん棲んでいる川」は過半数以上で上位

「里川」の認知度は低いものの、言葉聞いてイメージすることのトップに「清らかな水が流れる川」(54.7%)、第2位に「生き物がたくさん棲んでいる川」(53.3%)と続き、昨年同様の順位となりました。また第3位「身近と感ぜられる川」(38.5%)、第4位「その場にいると気持ちが癒される川」(30.9%)から推察すると、“里川”から親しみ深く安らぎをもたらす川を連想していることがうかがえます。

